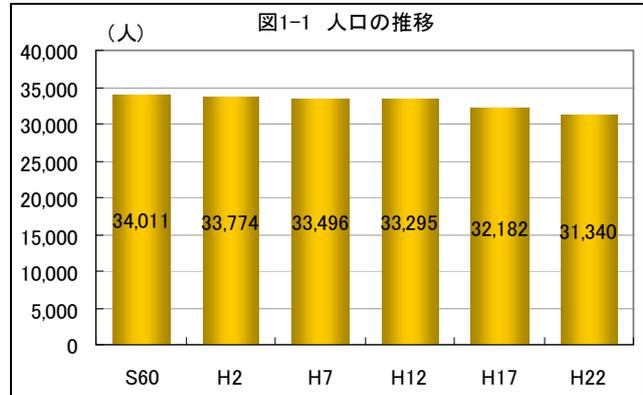


第1章 小浜市の現況特性

1-1 人口・世帯数

①人口

平成 22 年の人口は 31,340 人で、昭和 55 年以降平成 12 年までは横ばいで推移していましたが、平成 12 年から平成 22 年にかけて 2,000 人近い減少となりました。

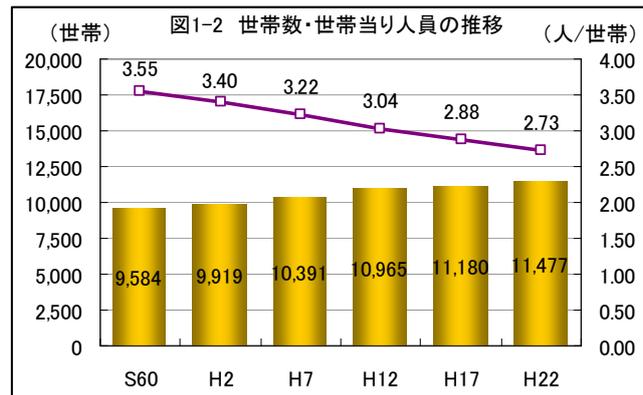


(資料：国勢調査)

②世帯数

平成 22 年の世帯数は 11,477 世帯で、一貫した増加傾向にあります。

1 世帯当りの人員は年々低下しており、平成 22 年時点では 2.73 人/世帯となっています。

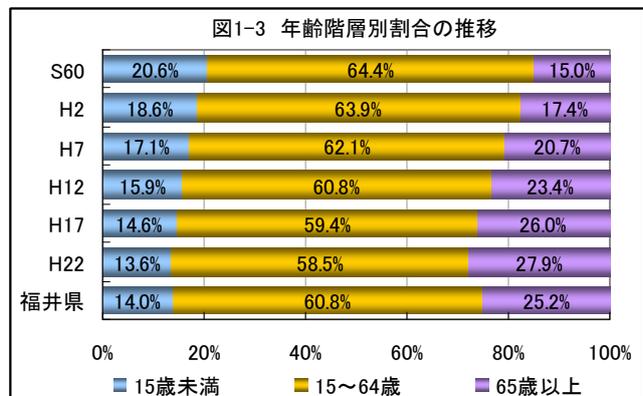


(資料：国勢調査)

③年齢階層別人口

少子化・高齢化の傾向が進んでいます。特に 65 歳以上の老年人口の割合が急激に増加しており、平成 22 年では全体の 3 割近くを占めています。

福井県平均と比較すると、15 歳未満の年少人口の割合はほぼ同じですが、15～64 歳の生産年齢人口の割合が低く、老年人口の割合が高くなっています。

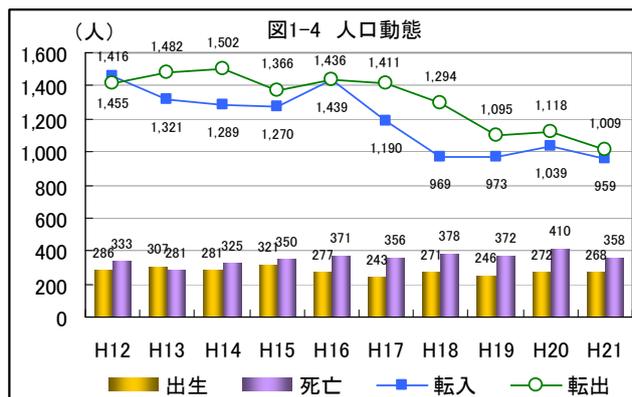


(資料：国勢調査)

④人口動態

人口動態は、死亡数が出生数を上回る自然減、転出者が転入者を上回る社会減の状態が続いています。

平成 16 年から 19 年頃にかけて、転入者・転出者ともに大きく減少しましたが、近年では横ばいとなっています。

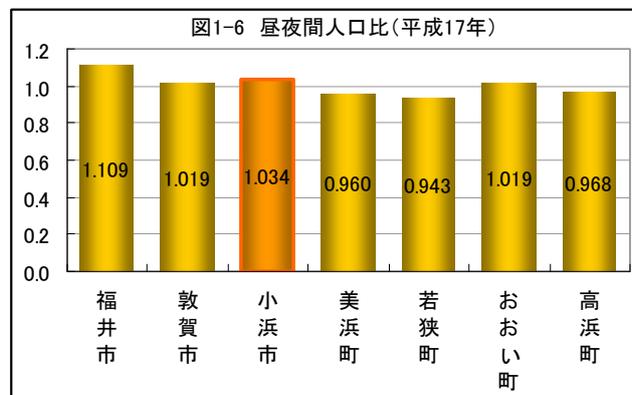
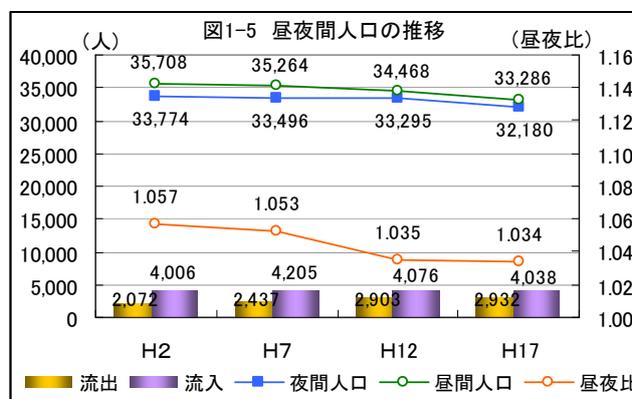


(資料：小浜市統計書)

⑤昼夜間人口

昼間人口が夜間人口を上回る流入超過となっています。

平成 17 年の昼夜人口比は 1.034 で、嶺南の市町の中では最も高くなっていますが、その比率は減少傾向にあります。



(資料：国勢調査)

⑥通勤・通学人口（流出入人口）

平成 17 年における本市から他市町への流出者（通勤・通学者）は 2,932 人で、主な流出先として、若狭町が 953 人（32.5%）、おおい町が 726 人（24.8%）、高浜町が 446 人（15.2%）となっています。

他市町から本市への流入者（通勤・通学者）は 4,038 人で、主な流入先として、若狭町が 1,558 人（38.6%）、おおい町が 1,069 人（26.5%）、高浜町が 665 人（16.5%）となっています。

平成 12 年と比較すると、若狭町やおおい町への流出が増加する一方で、県内周辺市町からの流入は、敦賀市を除き減少しています。

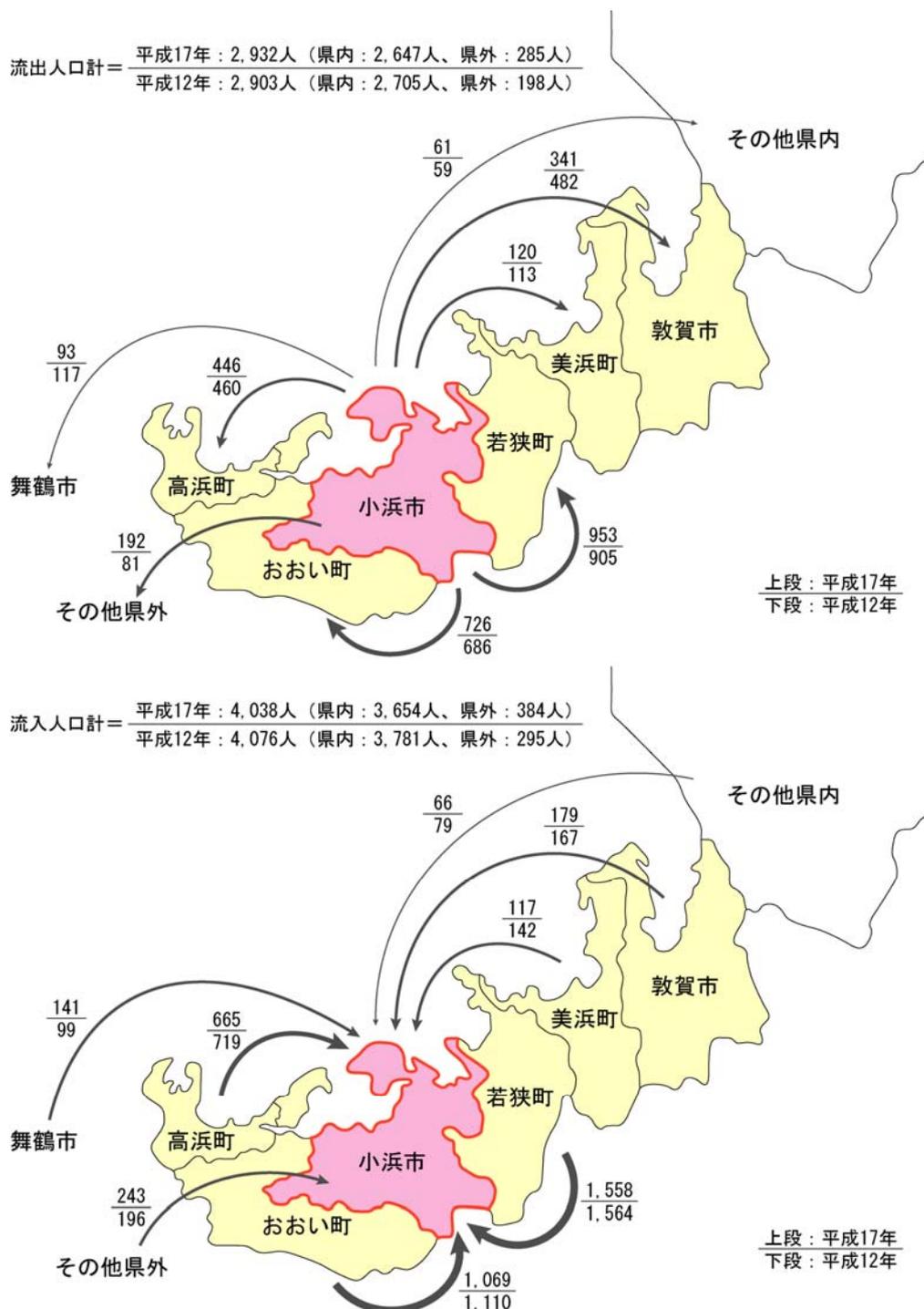


図 1-7 通勤通学状況（資料：国勢調査）

⑦地区別人口・世帯数の推移

平成 11 年から平成 22 年までの人口の推移を地区別にみると、今富地区・加斗地区で増加していますが、その他の地区は減少し、特に小浜地区・口名田地区・中名田地区が大きく減少しています。

世帯数は全ての地区で増加しており、特に宮川地区・今富地区・加斗地区が大きく増加しています。

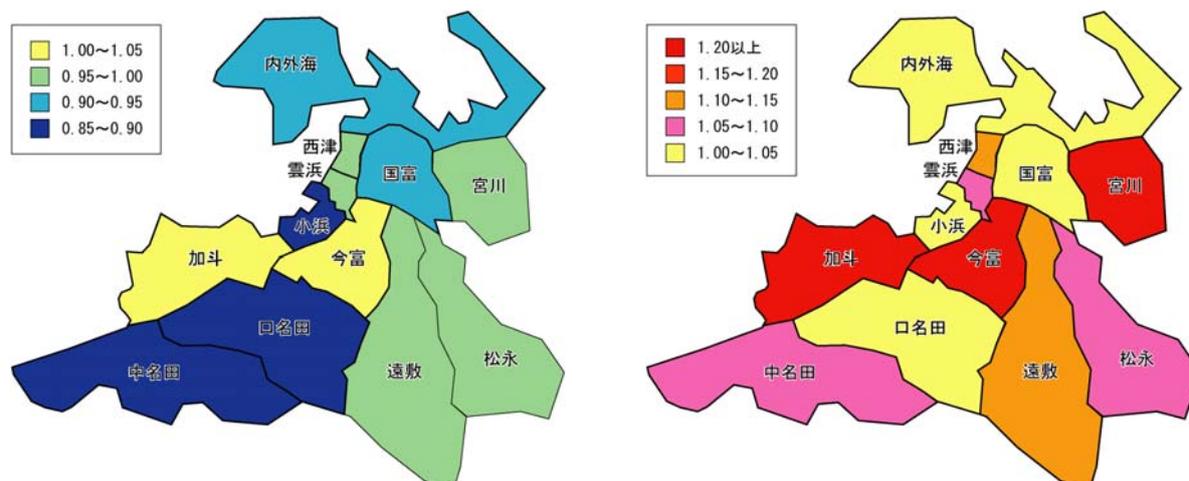


図 1-8 地区別人口（左）、地区別世帯数（右）の推移

平成 11 年～平成 22 年で平成 11 年を 1.0 とした指標（資料：住民基本台帳）

⑧周辺地域の人口動態

嶺南地域全体の人口が減少傾向にあり、全ての市町で人口が減少しています。

京都府では人口が減少したものの、減少率はわずかであり、また、大阪府と滋賀県は人口が増加傾向にあり、大都市圏への人口集中傾向が見られます。

表 1-1 周辺地域の人口推移（人）

	H7	H12	H17	H22	増加率 (H22/H12)
福井県	826,996	828,944	821,592	806,314	△ 2.7%
嶺南地域	153,081	152,485	149,234	145,404	△ 4.6%
敦賀市	67,204	68,145	68,402	67,760	△ 0.6%
小浜市	33,496	33,295	32,182	31,340	△ 5.9%
美浜町	12,362	11,630	11,023	10,563	△ 9.2%
高浜町	12,201	12,119	11,630	11,062	△ 8.7%
おおい町	10,251	9,983	9,217	8,580	△14.1%
若狭町	17,567	17,313	16,780	16,099	△ 7.0%
京都府	2,629,592	2,644,391	2,647,660	2,636,092	△ 0.3%
舞鶴市	94,784	94,050	91,733	88,669	△ 5.7%
大阪府	8,797,268	8,805,081	8,817,166	8,865,245	0.7%
滋賀県	1,287,005	1,342,832	1,380,361	1,410,777	5.1%

（資料：国勢調査）

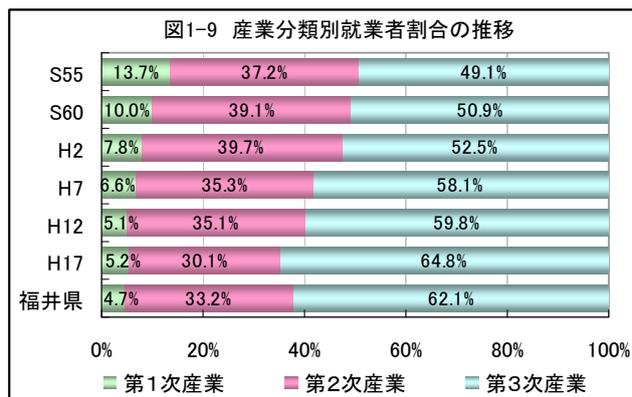
1-2 産業

①産業別就業割合

平成 17 年の就業者数は 16,042 人となっています。

第 1 次産業、第 2 次産業は減少傾向にあり、第 3 次産業は増加傾向にあります。

福井県平均と比較すると、第 2 次産業の割合が低く、第 3 次産業の割合が高くなっています。

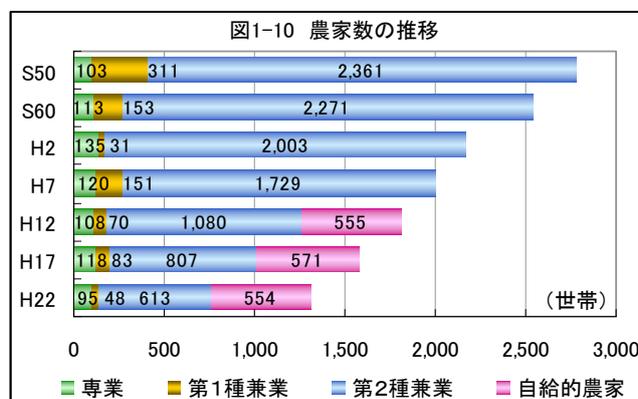


(資料：国勢調査)

②農業

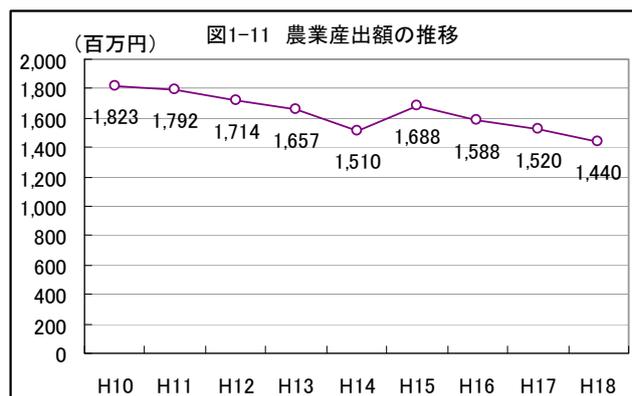
平成 22 年の総農家数は 1,310 世帯で、昭和 50 年以降、一貫して減少傾向にあり、30 年前の 5 割以下と大きく減少しています。

農業産出額は、ほぼ一貫して減少傾向にあります。



(資料：農林業センサス)

※平成 12 年より、総農家数＝販売農家数^(※)＋自給的農家数^(※)に変更



(資料：北陸農政局福井農政事務所)

※平成 17 年以降は千万円単位での公表

③林業

平成 21 年の林野面積 19,094ha で、平成 15 年以降では大きな増減はありません。

天然林が 11,330ha で全体の 59.3%を占め、天然林の中でも、広葉樹が全体の 53.2%を占めています。

所有形態別にみると、私有林が全体の 93.0%を占めています。

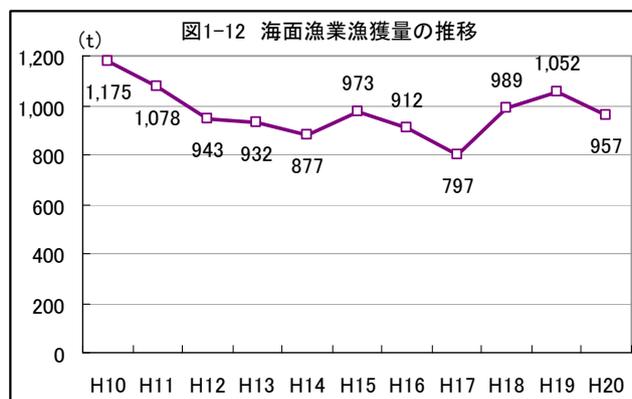
表 1-2 林野面積の推移 (ha)

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
人工林	針葉樹	7,375	7,406	7,412	7,399	7,392	7,371	7,375
	広葉樹	15	15	15	15	16	31	31
天然林	針葉樹	1,221	1,219	1,219	1,175	1,168	1,168	1,166
	広葉樹	10,160	10,140	10,135	10,191	10,171	10,167	10,164
竹林		184	184	184	184	184	184	184
無立木地	伐採跡地	3	3	3	3	3	3	3
	未立木地	136	136	138	138	170	170	171
所有形態	国有林	708	708	710	710	743	733	734
	公有林	593	593	594	594	606	606	606
	私有林	17,791	17,802	17,801	17,801	17,755	17,755	17,754
総計		19,093	19,103	19,104	19,104	19,104	19,094	19,094

(資料：福井県統計年鑑)

④水産業

海面漁業漁獲量は増減を繰り返しており、産業として不安定な状況にあることが伺われます。



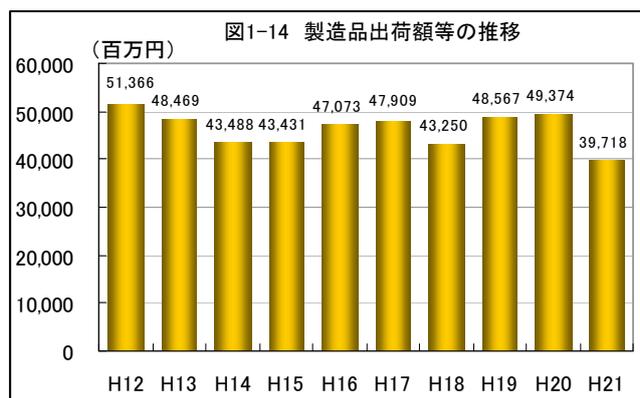
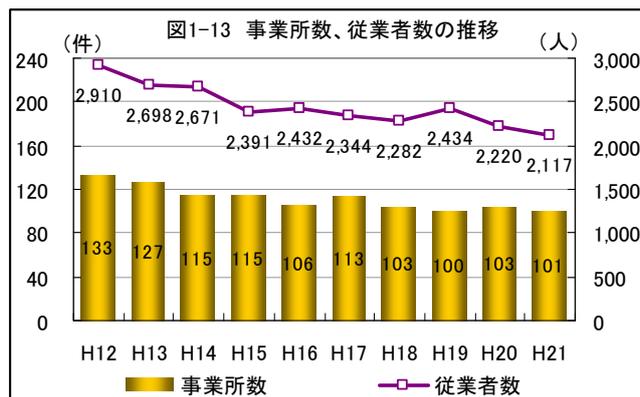
(資料：H10～H15／福井県農林水産統計年報
H15～H20／海面漁業生産統計調査)

⑤工業

平成 21 年の事業所数は 101 件で、平成 12 年から 14 年にかけて約 20 件減少しましたが、近年は横ばいで推移しています。

従業者数は 2,117 人で、減少傾向にあります。

製造品出荷額等は、増減を繰り返しておりますが、概ね 500 億円前後で推移していましたが、平成 21 年は前年に比べ約 100 億円の減少となりました。



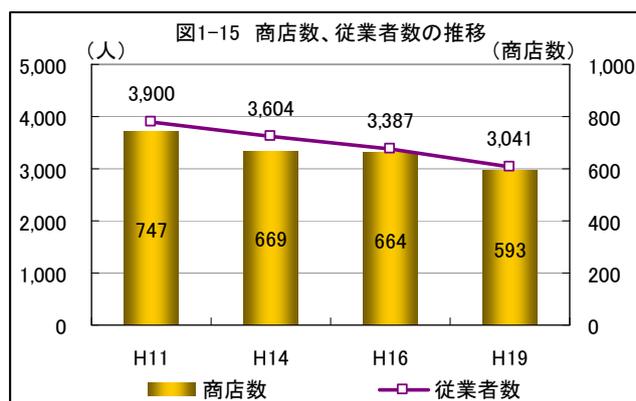
(資料：工業統計調査)

⑥商業

i) 商店街、従業者数、商品販売額

平成 19 年の商店数は 593 店、従業者数は 3,041 人で、いずれも減少傾向にあります。

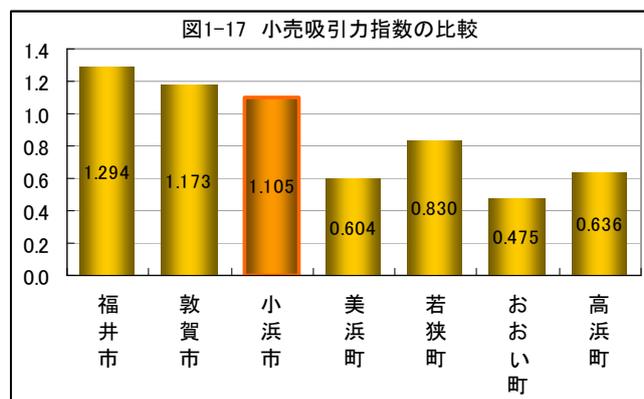
商品販売額は、平成 11 年から 16 年にかけて大きく減少しましたが、その後はやや増加しました。



(資料：商業統計調査)

ii) 小売吸引力指数

平成 19 年の小売吸引力指数^(※)は 1.105 で、嶺南地域では敦賀市に次いで大きな値となり、周辺市町から購買客を吸引している状況です。



(資料：商業統計調査)

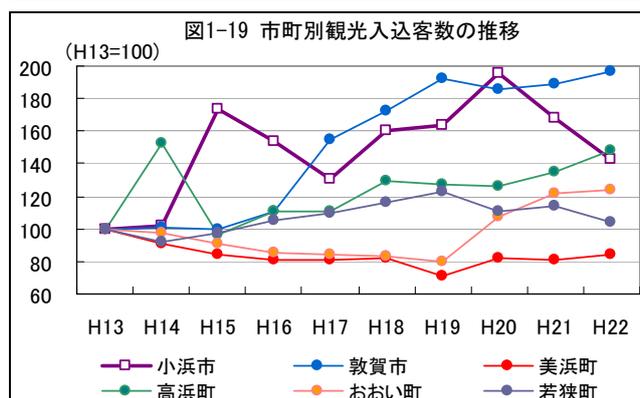
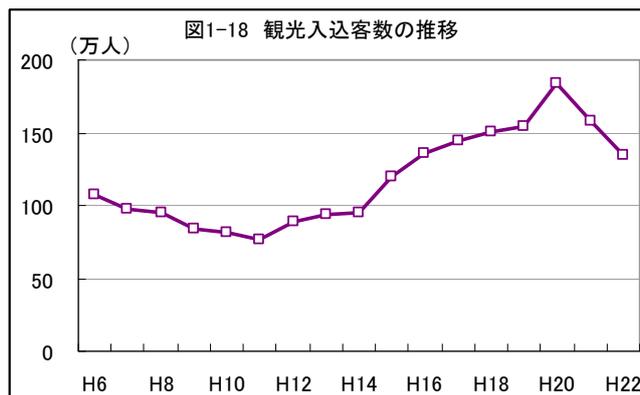
⑦観光

観光入込客数は、平成 14 年まで約 100 万人で推移していましたが、平成 15 年に舞鶴若狭自動車道小浜西 IC が開通し、若狭路博 2003 の開催、御食国若狭おばま食文化館のオープンもあり、増加しました。特に平成 19 年から平成 20 年にかけては、連続テレビ小説「ちりとてちん」の効果もあり、大きく増加しました。

しかしその後は、2 年続けて減少に転じています。

嶺南地域の市町をみると、敦賀市、高浜町、おおい町で増加傾向にあります。

主要な観光地（施設）として最も入込客数が多いのは蘇洞門めぐりで、次いで御食国若狭おばま食文化館となっています。



(資料：H13～H15／福井県観光客数動態推計表
H16～H22／福井県観光客入込数(推計))

表 1-3 小浜市の主要観光地入込状況 (5 万人以上)

(人)

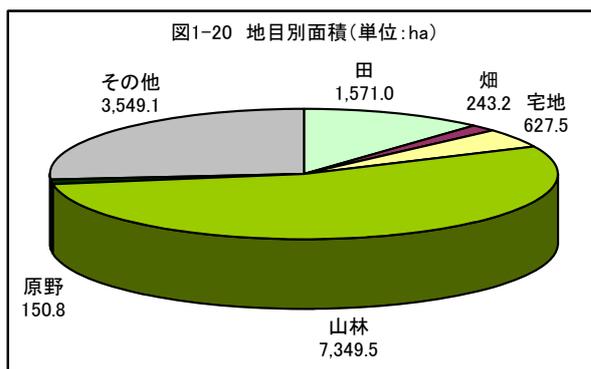
観光地（施設）名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
蘇洞門めぐり	311,000	301,000	320,000	340,000	398,000	342,000	345,000
御食国若狭おばま食文化館	153,000	300,000	257,000	223,000	323,000	305,000	228,000
若狭塗箸施設	124,000	128,000	164,000	170,000	250,000	175,000	138,000
国宝めぐり	166,000	138,000	168,000	151,000	167,000	144,000	130,000
ちりとてちん ロケ地めぐり	—	—	—	61,000	100,000	89,000	50,000
国立若狭湾 青少年自然の家	—	—	32,000	76,000	78,000	76,000	85,000
エンゼルライン	—	—	73,000	81,000	70,000	50,000	40,000

(資料：H15／福井県観光客数動態推計表、H16～H22／福井県観光客入込数(推計))

1-3 土地利用

①土地利用現況

平成 22 年の地目別面積は、全体の 54.5% (7,349.5ha) を山林が占めており、次いで、田が 11.6% (1,571.0 ha)、宅地が 4.7% (627.5ha) となっています。



(資料：固定資産概要調書による地目別面積 H22.1.1)

②都市計画区域、用途地域等

本市は、若狭町の一部(旧上中町)とともに小浜上中都市計画区域を構成しています(行政区域の一部)。このうち 448.0ha が用途地域^(※)に指定されており、住居系の用途地域が 53.1% (238.0ha) を占めています。

その他の地域地区として、特別用途地区^(※)(準工業地域において床面積 1 万㎡超の大規模集客施設の立地を制限)、高度利用地区^(※)、準防火地域^(※)、重要伝統的建造物群保存地区^(※)を指定しています。

表 1-4 用途地域の指定状況

都市計画区域面積	第一種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域
2,708ha	21.3ha 4.8%	81.9ha 18.3%	20.9ha 4.7%	109.1ha 24.4%	4.8ha 1.1%
用途地域面積	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	最終変更年月日
448.0ha	28.0ha 6.3%	42.0ha 9.4%	79.0ha 17.6%	61.0ha 13.6%	H15. 1. 7

表 1-5 その他の地域地区の指定状況

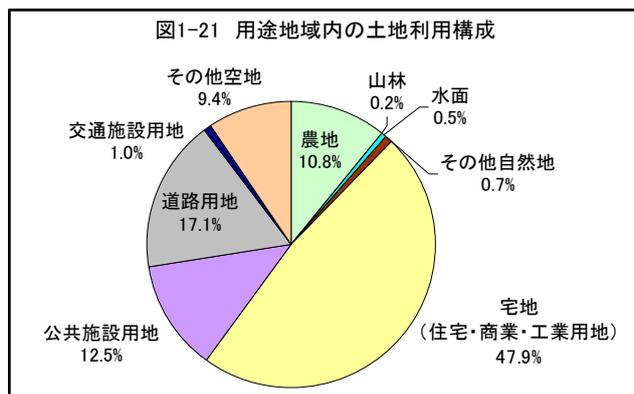
名称	地区名	面積 (ha)	最終決定年月日
特別用途地区	大規模集客施設制限地区	63.4	H19. 12. 25
高度利用地区	白鬚地区	1.0	S62. 3. 31
準防火地域	—	74.9	H 4. 12. 11
重要伝統的建造物群保存地区	小浜西組	19.1	H20. 6. 9

(資料：福井県の都市計画 H22.3.31 現在)

③市街地内の土地利用構成

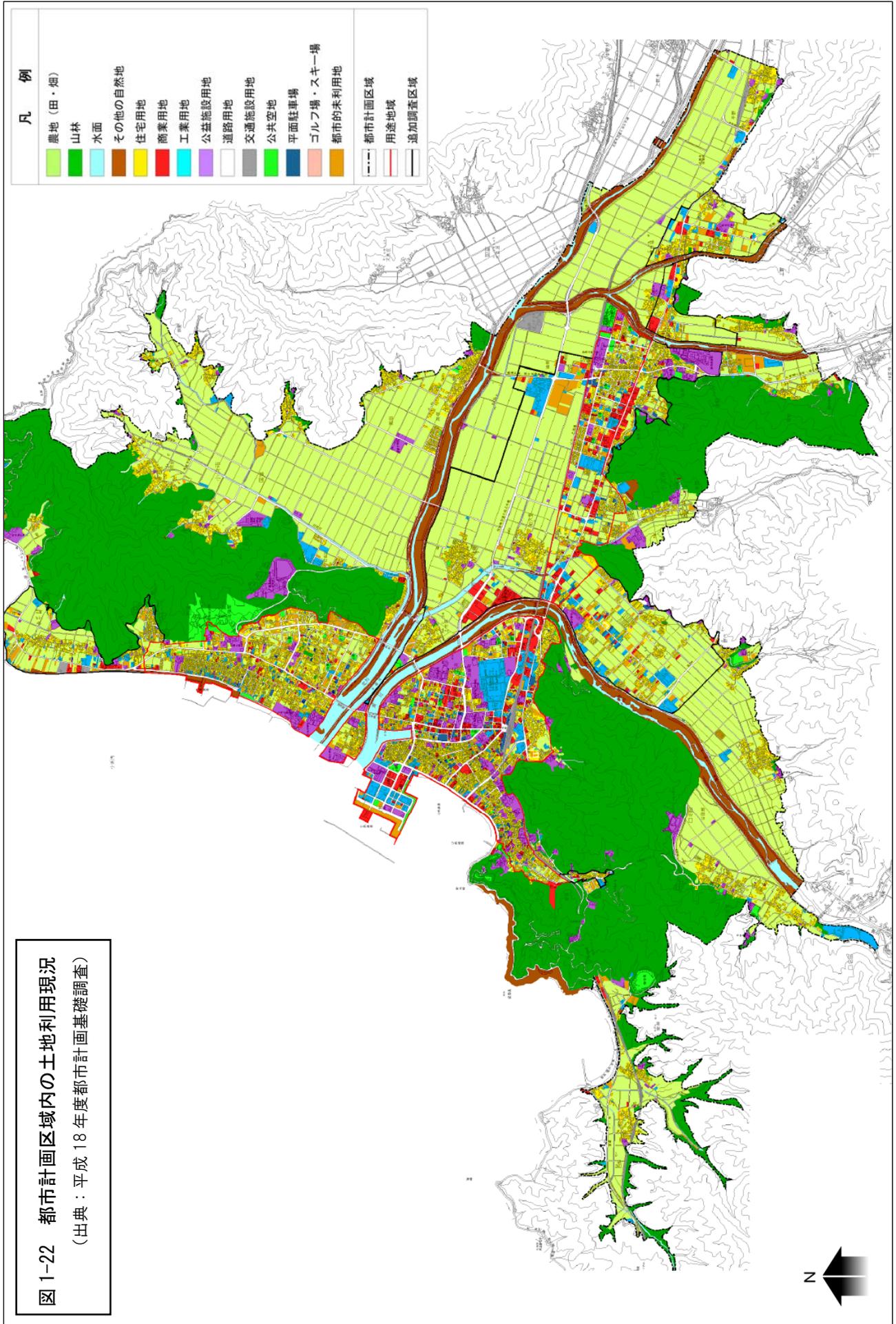
市街地(用途地域)の土地利用現況を見ると、宅地(住宅・商業・工業用地)が 47.9% (215.1ha) を占める一方、農地や空き地(その他空地)が約 2 割を占めています。

市街地内に未利用地が残る一方で、今富地区(生守区)や(都)小浜縦貫線沿道などの郊外部における宅地化が進展しています。



(資料：H18 年度都市計画基礎調査)

图 1-22 都市計画区域内の土地利用現況
 (出典：平成 18 年度都市計画基礎調査)



1-4 交通体系

①道路網

東西方向に国道 27 号が、南北方向に国道 162 号が通過し、広域交通や近隣市町との連携の中心的役割を担っています。

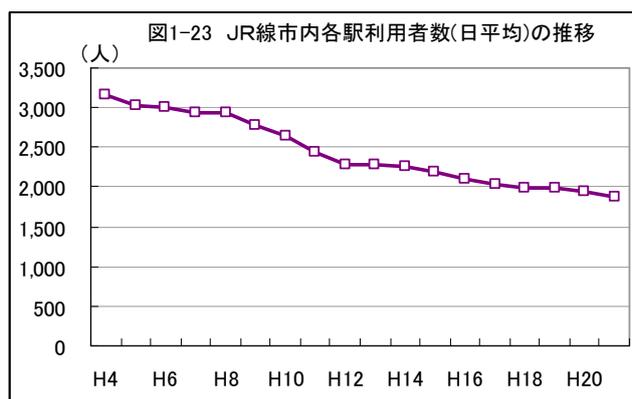
また、舞鶴若狭自動車道の整備が進められており、舞鶴東 IC～小浜西 IC が平成 15 年 3 月に、小浜西 IC～小浜 IC が平成 23 年 7 月に開通し、小浜 IC～敦賀 JCT 間が平成 26 年度中の完成予定です。

②公共交通機関

国道 27 号と並行して東西に JR 小浜線が通過しており、小浜駅、東小浜駅、勢浜駅、加斗駅、新平野駅の 5 駅があります。平成 15 年 3 月に電化されましたが、1 日平均の乗車人員は一貫して減少傾向にあります。

バス交通は、大阪方面を結ぶ高速バス「若狭ライナー」（若狭フィッシャーマンズワーフ⇄梅田・なんば：6 往復/日）、JR バス若江線（小浜駅⇄近江今津駅、13 往復/日）が運行されています。

また、あいあいバスは、池河内線、泊線・田鳥線、名田庄線・小屋線およびコミュニティ路線（6 系統）が運行されています。

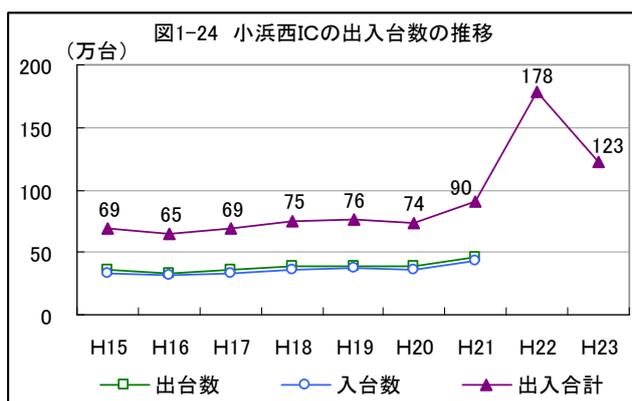


(資料：福井県統計年鑑)

③舞鶴若狭自動車道小浜西 IC 出入台数

平成 15 年 3 月に舞鶴若狭自動車道小浜西 IC が開通して以来、IC の出入台数は増加傾向にあります。

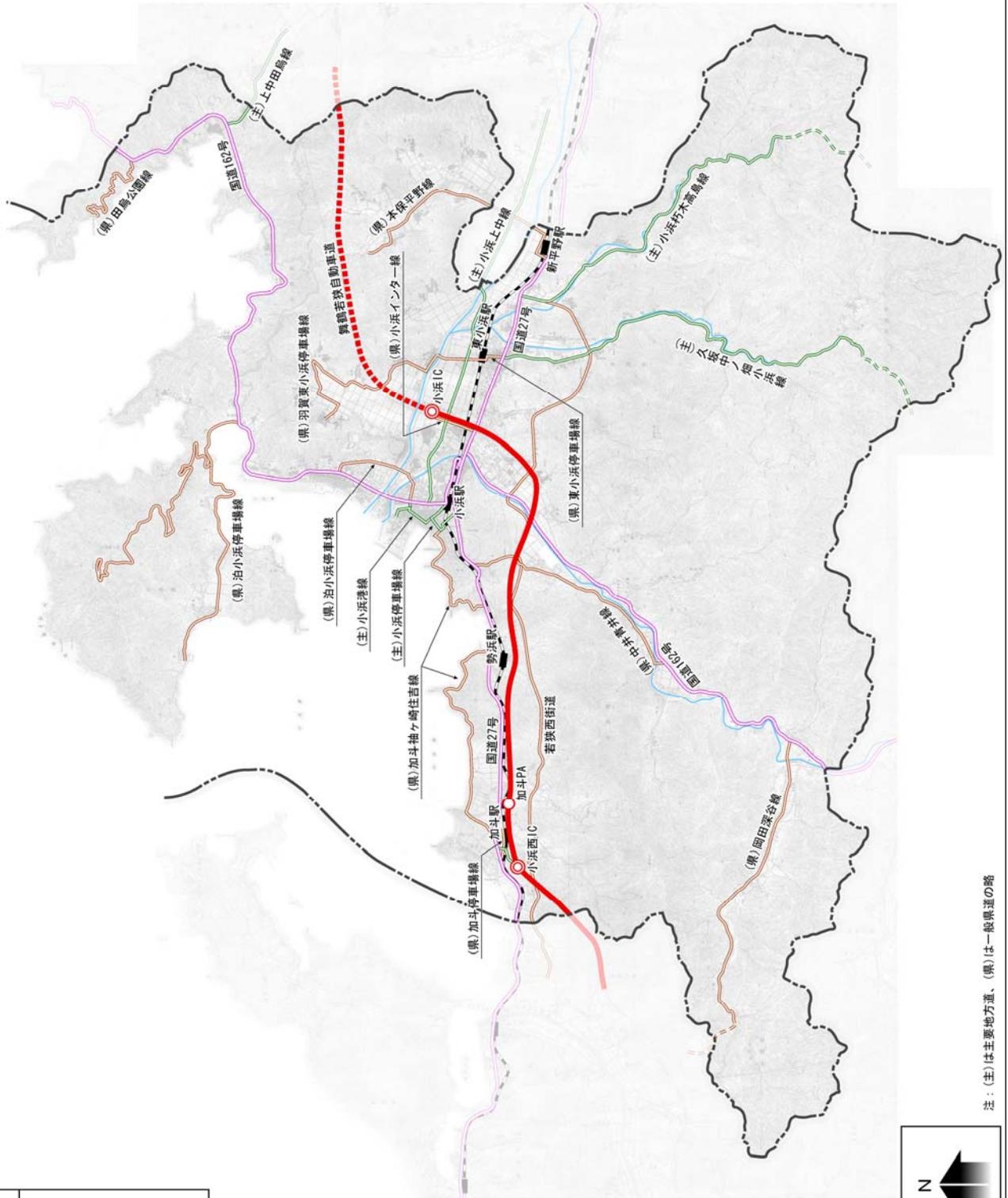
平成 22 年に出入台数が大きく増加したのは、平成 22 年 6 月から平成 23 年 6 月にかけて実施された高速道路無料化社会実験の影響によるものと考えられ、平成 23 年 7 月に小浜 IC が開通したことと合わせて、平成 23 年には出入台数が減少しました。



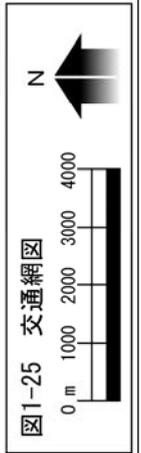
(資料：庁内資料)

※H22、H23 は出入別のデータなし

凡 例	
	舞鶴若狭自動車道・IC・PA
	国道
	主要地方道
	一般県道他
	JR小浜線・駅



注：(主)は主要地方道、(県)は一般県道の略



1-5 都市施設

①都市計画道路

16 路線、47.1km が都市計画決定されており、改良率は 73.5% となっています。

平成 23 年 7 月 16 日の舞鶴若狭自動車道（(都)若狭縦貫自動車道）小浜 IC の開通に合わせて、関連道路の整備が行われたほか、まちなかの都市計画道路の整備も進めています。

一方、長期間にわたり整備計画が進んでいない路線や整備効果が低いと考えられる路線も残っています。

表 1-6 都市計画道路の整備状況

路線番号	路線名	計画幅員 (m)	計画延長 (km)	改良済 (km)	概成済 (km)	改良率 (%)
1・4・1	若狭縦貫自動車道	20.5	20.03	12.8	0.00	63.9
3・5・1	小浜停車場線	12	2.66	3.52	0.25	84.4
		15	0.78			
		11	0.73			
3・4・2	多賀竹原松ヶ崎線	16	2.44	2.32	0.39	85.6
		18	0.27			
3・5・3	湊幹線	12	0.59	0.59	0.00	100.0
3・5・4	東環状線	12	0.67	0.67	0.00	100.0
3・4・5	小浜縦貫線	19.5	2.01	5.09	0.00	94.3
		16	1.51			
		20	0.74			
		25	1.14			
3・4・6	駅前湯岡線	16	1.30	0.97	0.33	74.6
3・4・7	国道 27 号線	16	1.19	0.00	1.19	0.0
3・4・9	白鳥海岸線	16	0.74	0.74	0.00	100.0
3・4・10	臨港線	16	3.82	4.73	0.00	67.9
		18	0.83			
		12	2.32			
3・5・11	小浜港線	15	0.40	0.67	0.00	100.0
		16	0.27			
3・5・12	河縁線	12	0.62	0.62	0.00	100.0
3・6・13	四ツ谷線	11	0.35	0.35	0.00	100.0
3・5・14	新小松原線	12	0.23	0.00	0.00	0.0
3・4・15	山手小松原線	16	0.81	0.81	0.00	100.0
3・3・16	小浜インター線	16	0.65	0.65	0.00	100.0
合計	16 路線	—	47.10	34.63	2.27	73.5

(資料：庁内資料(H24.3.31 現在))

②公園・緑地

都市公園は、街区公園が 22 箇所、近隣公園と総合公園が各 1 箇所あり、全て供用済となっています。

表 1-7 都市公園・緑地の整備状況

公園番号	種別	名称	計画面積 (ha)	供用面積 (ha)	供用率 (%)
2・2・1	街区	中央公園	0.31	0.31	100.0
2・2・2	〃	東公園	0.32	0.32	100.0
2・2・3	〃	四谷公園	0.17	0.17	100.0
2・2・4	〃	千種公園	0.28	0.28	100.0
2・2・5	〃	南公園	0.25	0.25	100.0
2・2・6	〃	湊公園	0.18	0.18	100.0
2・2・7	〃	北公園	0.24	0.24	100.0
2・2・8	〃	遠敷第一公園	0.16	0.16	100.0
2・2・9	〃	遠敷第二公園	0.15	0.15	100.0
2・2・10	〃	遠敷第三公園	0.23	0.23	100.0
2・2・11	〃	遠敷第四公園	0.47	0.47	100.0
2・2・12	〃	遠敷第五公園	0.21	0.21	100.0
2・2・13	〃	小浜公園	0.62	0.62	100.0
2・2・14	〃	青井第一公園	0.16	0.16	100.0
—	〃	西部児童公園	0.13	0.13	100.0
—	〃	青井第二公園	0.08	0.08	100.0
—	〃	三の堀公園	0.06	0.06	100.0
—	〃	台場浜公園	0.51	0.51	100.0
—	〃	南川第一公園	0.26	0.26	100.0
—	〃	南川第二公園	0.10	0.10	100.0
—	〃	松ヶ崎公園	0.24	0.24	100.0
—	〃	内浜田公園	0.24	0.24	100.0
3・3・1	近隣	若狭の里公園	1.86	1.86	100.0
5・5・1	総合	若狭総合公園	16.00	16.00	100.0
合 計		24 箇所	23.23	23.23	100.0

(資料：都市公園台帳(H24.3.31 現在))

③下水道

下水道整備が進められており、平成 22 年度末時点での整備率は 91.75%となっています。また、処理施設である小浜浄化センターは平成 3 年 3 月に供用を開始し、今日に至っています。ポンプ場に関しては、北部中継ポンプ場が平成 12 年 4 月に、東部中継ポンプ場が平成 17 年 3 月にそれぞれ供用開始されています。

表 1-8 下水道の整備状況

計 画							
排水区域 (ha)	処理区域 (ha)	下水管渠 (m)	ポンプ場		処理場		
			箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	
740	740	169,181	2	1,325	1	18,493	
供 用							
排水区域 (ha)	処理区域 (ha)	下水管渠 (m)	ポンプ場		処理場		整備率 (%)
			箇所数	面積(m ²)	箇所数	面積(m ²)	
679	679	166,186	2	1,325	1	18,493	91.75

(資料：庁内資料(H23.3.31 現在))

④その他の都市施設

その他の都市施設として、小浜市営広峰駐車場、小浜市クリーンセンター、小浜浄化センターが整備されています。

表 1-9 その他都市計画の状況

名 称	所在地	面積 (ha)	最終決定年月日
小浜市営広峰駐車場	広峰・大手町	0.47	S 54.12.10
小浜市クリーンセンター	谷田部	2.24	H 8.11.26
小浜浄化センター	川崎 2 丁目	1.8(敷地面積)	H3.3.31(供用開始日)

(資料：福井県の都市計画(H22.3.31 現在)、庁内資料)

1-6 市街地開発事業

土地区画整理事業^(※)は、市街地を中心に 7 地区 (計 135.4ha) で実施されています。

白鬚地区において市街地再開発事業^(※)が実施 (平成 4 年 10 月完了) されましたが、商業棟およびつばき回廊は平成 21 年 9 月に解体されました。

表 1-10 市街地開発事業等実施状況

	施行済		合計	
	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)
土地区画整理事業	7	135.4	7	135.4
市街地再開発事業 (白鬚地区)	1	1.0	1	1.0

(資料：福井県の都市計画(H22.3.31 現在))

